

事務事業	5011	財政計画進捗管理事業	担当課	経営企画課	担当係	財政係
------	------	------------	-----	-------	-----	-----

計画期 画期 体計 系画	施策	19	将来にわたって持続可能なまちをつくる	予算 科目	会計		
	取り組み方針	530	健全な財政運営を行う		款		
					項		
					目		

法令根拠条例等		個別計画	志免町中期財政計画(平成27年度~平成31年度)
---------	--	------	--------------------------

実施期間	<input type="checkbox"/> 29年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	年度より開始	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(複数年)	27 年度~ 31 年度
------	---------------------------------	--------------------------------	--------	---	--------------

<p>【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)</p> <p>平成17年度から行政経営改革実行計画、平成23年度から緊急財政健全化計画に基づく行財政改革の取り組みを行ってきた。引き続き財政の健全化に取り組むため、本町の財政を取り巻く状況の変化等を踏まえ、新たな財政需要を含めた財政収支見通しを立て、財政面における課題を明らかにし、予算編成や行財政運営の指針として活用するため志免町中期財政計画を策定した。当該事業で、計画に掲げる取り組みの進捗管理を行う。</p>	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)	千円
<p>【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)</p> <p>計画で掲げている具体的な取り組みの進捗状況を毎年度把握し、その内容を予算概要書などで公表。当初予算財政状況が大きく変化した場合に必要なに応じて、目標数値等を変更を検討する。</p>		千円
		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

<p>① 手段(主な活動)</p> <p>29年度に行った主な活動(※箇条書きで記入)</p> <p>進捗状況の把握</p>	<p>事務事業の目的</p>
<p>② 対象(誰、何を対象にしているのか)</p> <p>中期財政計画における目標数値</p>	
<p>③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>各目標の進捗状況を把握することにより、必要に応じて次年度以降の目標値を修正し、最終的に全体の目標を達成する。</p>	

④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 計画見直し回数	回	0	0	0 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 財政健全化に向け設定している目標数	件	12	12	12 (見込)	
イ				(見込)	
ウ				(見込)	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		指標数値			
名称	単位	28年度	29年度	30年度	
ア 財政健全化の目標が達成された取組数	件	目標	12	12	12
		実績	8	7	
イ		目標			
		実績			
ウ		目標			
		実績			
エ		目標			
		実績			
オ		目標			
		実績			

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計(A)	0	0	0	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	1,549	1,808	2,157	2,229		
	トータルコスト(A)+(B)	1,549	1,808	2,157	2,229	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成29年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
平成23年度から平成25年度を対象とした緊急財政健全化計画への取組みにより一定の成果は上げているが、今後も学校施設大規模改造等に係る公債費の増加、都市計画道路の整備や公共施設、インフラ施設などの老朽化による更新、改修など普通建設事業費の増加、社会保障関係経費の増加など財政需要の拡大が懸念される。このような状況を踏まえ財政計画が策定された。	小中学校の空調機導入など財政環境への動向が大きく変化する要因となる事例の発生により、平成27年度中に一度改定している。	特になし。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		29年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成29年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	今般、熊本地震災害など予測不可能な事象の発生などに加え、社会経済情勢の変化や先行き不透明な地方交付税の動向など、財政環境の見極めは年々困難になってきている。 歳入規模に見合った歳出の維持を図りつつ、新たな財政需要に柔軟に対応できる財政構造を模索し、より効率的・効果的な行政運営を進める必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	上位施策の成果指標の達成に向けて、計画に掲げられている目標の達成は必要である。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	予算を必要としない事業である。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	法律の改正や社会情勢の将来見通しをより早く把握し、適切に予算に反映することで、各取組の目標達成の可能性が高まる。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	適切な計画の進捗管理が行えなくなる。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	事業費が発生しない事業である。

(2) 29年度を振り返って(全体総括・反省点)

目標達成に向けて順調に推移している。 一部、平成31年度目標を達成している取り組みもあるが、その数値を維持するため油断せずに取り組んでいきたい。

3 今後の方向性(30年度以降の計画と31年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成30年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	平成30年度以降、竪坑槽改修工事など大きな財政負担が見込まれる事業が控えているため、計画の進捗管理においても目標達成に向けた取組みに対する油断はできない状況となっている。 延期となっている消費税増税も平成31年10月に控えるなど見極めが困難な社会情勢ではあるが、歳入規模を可能な限りの確に見込み、それに見合った歳出の維持を図りつつ、新たな財政需要に対応できる財政構造を模索し、より効果的・効率的な行政運営を図り、計画最終年度である31年度に向けて全目標の達成に努める。